

標準化を、 経営戦略の力に。

企業マネジメントを担う方のための 国際規格セミナー

～ビジネス拡大のための戦略的標準化プロセス
(ルール形成・バリューチェーン)と規格の活用～

令和7年度 経済産業省 産業標準化事業表彰受賞企業による講演



標準化を企業の
競争力・市場拡大に
つなげる視点



組織・人材・ガバナンスの
観点から標準化を
経営に組み込む実践例



グローバルなルール形成と
バリューチェーンの
最新動向

SESSION 01 14:05 - 14:45 (40分)

標準化を通してビジネスに 貢献するための組織と実践



塩川 健一郎 氏

本田技研工業株式会社
コーポレート管理本部
知的財産・法務統括部
戦略企画部 戦略企画課
チーフエンジニア

講演概要

標準化は、規格を作る技術部門の活動にとどまらず、市場形成や技術普及、競争力の確保につながる経営課題と考えられる。本講演では、Hondaが現場中心の活動から、CSO設置、知的財産部門への標準化機能の整備、社内委員会設立へと組織を発展させた経緯を紹介する。さらに、事業戦略と標準化の接続、社内ガバナンス、人材育成、開発現場との連携について取り上げ、標準化をビジネスに貢献させるための取り組みについても紹介し、標準化経営を考える機会を提供する。

セミナー開催にあたって 岸谷 克己 (鉄道総研) 14:00-14:05 (5分)

SESSION 02 14:50 - 15:30 (40分)

未来の市場を創る 「知財・標準化フロントローディング」 ～グローバル体制構築・人材育成から戦略立案への AI活用まで、三菱電機の挑戦～



柴 光輝 氏

三菱電機株式会社
知的財産センター
知財戦略部長

講演概要

自社完結が通用しない脱炭素や循環経済などの「産業エコシステム」への移行期において、ルール形成の遅れは自社製品が突然市場から排除される経営リスクに直結する。本講演では、三菱電機が「フロントローディング」の意識でグローバル知財・標準化組織や人材育成を先行構築したかを解説し、さらに、身近な具体例として、自動車の再プラ規制の波及を見据えた日本発の家電向け再プラ品質目安に挑んだ課題感と現状、あわせてAIを活用したオープン&クローズ戦略の最新プロセスを紹介し、未来の市場を創る標準化経営を考える機会を提供する。

セミナー終了にあたって 北川 敏樹 (鉄道総研) 15:35-15:40 (5分)

2026年12月18日(金) 14:00-15:40



オンライン開催 (Zoom ウェビナー)
鉄道総研 千代田会議室より中継

お申し込み

下記のMicrosoft Formsよりお申し込みください。
<https://forms.cloud.microsoft/r/bWp7tCtxYe?origin=lprLink>

申込期限

2026年11月30日(月)

※お申し込みいただいた方には、後日、聴講用URLをお送りします。



お申し込みは
こちらから
(Microsoft Forms)

主催

公益財団法人 鉄道総合技術研究所 鉄道国際規格センター

お問い合わせ

鉄道国際規格センター 担当 (山本、水口、川杉)
E-mail : iecjnc@rtri.or.jp Tel : 042-573-7234